

第 22 回筑波大学附属病院認知症疾患医療センター研修会・講演会

【開催報告】

2024 年 2 月 9 日(金)オンライン形式にて、医療・介護・福祉・行政等認知症に関わる専門職の皆様を対象に、第 22 回筑波大学附属病院認知症疾患医療センター研修会・講演会を開催いたしました。レカネマブの治療開始に向けて、認知症に関わる専門職としての役割があらゆる場面でクローズアップされてきている現状もあり、今回 130 名を超えた皆様に参加していただきました。

当日は筑波大学附属病院認知症疾患医療センター 新井哲明部長の挨拶を皮切りに、近畿大学医学部精神神経科学教室主任教授 橋本衛先生を講師にお迎えして『レカネマブ治療開始を見据えた認知症治療について』というテーマでご講演いただきました。認知症の早期診断について、また診断後の告知、その後の支援の問題について、先生のご経験も踏まえながら、精神科的視点で丁寧に解説していただきました。

研修会後のアンケートでは「認知症の方のお気持ち、受容への支援についてとても勉強になった」「実際の支援について、これまで学ぶ機会がなく日頃悩んでいたが、具体的な実践を知り大変勉強になった」「今後の仕事に活かしたい」といった感想を数多くいただいております。ありがとうございました。

次年度の研修会につきましては、開催方法も含め決まり次第当センターHP 内でもお知らせいたします。ぜひご参加ください。



レカネマブ治療開始を見据えた認知症診療について

近畿大学医学部 精神神経科学教室

橋本 衛

